



宇津木台 森遊会 中止報告

「第3回定例活動」

No.2013-03

実施日	2013年6月26日(水)	天候：雨	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加予定者：恩田の谷戸ファンクラブ有志2名、法政大学学生5名 オリンパス株式会社総務部7名、森遊会会員の参加連絡はなし		

報告

活動3年目の第三回目。前日の天気予報では曇り、その後、雨の予報となり急遽中止とした。予定していたのは、除伐と生垣の剪定、巣箱の観察で、10～18時の間で自由参加としていた。

金森は午前中から午後にかけて緑地散策を兼ねて巡回した。

16時頃からオリンパス株式会社総務部の環境月間担当者2名を作業現場に案内し剪定方法とその意義などを説明した。今後、オリンパスによる地域貢献活動の一環として社員の参加が期待できる。

最近の緑地の様子を写真と共に紹介する(6月26日撮影)

- ・竹林は若竹が親竹に育った。秋には計画通り、古い竹を10本ほど伐って密度管理を進める。
- ・水辺は期待したカエルがみられない。昨年は卵を確認できたが、結局天敵の蛇にやられたか。
- ・ツツジの生垣は整備を予定した周辺を除伐して、次回の作業がし易いように準備しておいた。
- ・巣箱は大雨になると大木の幹が水が伝って流れるため浸水、取り付け方を見直す必要がある。
- ・次回、試みにピザを焼いてみる。ピザ窯は緑地斜面を利用して横穴を掘りたき火で高温を保つ。
- ・除伐や笹刈りによって地表が明るくなったためか、土中の太ミミズが増えているように思う。
- ・猛禽に襲われた鳥の残骸をよくみかけるようになった。生き物のサイクルが戻ってきている。
- ・コナラのどんぐりから実生が無数に出ている。殆どは育たないが2、3年大きくなったものを台風で大木が倒れ、皆伐したため広場になっている緑地中央エリアに移植することを考える。



若林は成長し
親竹となった



大雨でも
水量は一定



小川では
生き物は見られない



作業を予定した
未整備の生垣



大雨で巣箱は浸水
但し巣立ちの後



ピザ窯の候補地
斜面を利用



倒れた丸太の下
ミミズがびっしり



襲われた鳥の羽
種類は不明



コナラの実生
無数に出ている



大雨で遊歩道が
川となった



高台から多摩川側を望む
北風の直撃が心配だ



高台から多摩川側を望む
北風の直撃が心配だ

連絡事項

- ・次回活動日は7月28日(日)に予定する。

作業内容：笹刈りと遊歩道の設置

アトラクション：流し素麺とピザ窯の試行